

2026年度

# 入学試験問題

学校法人 明星学園

国際医療専門学校

看護学科

現代の国語

(一般入試 1期)

[注意事項] (試験が始まる前に読んでおくこと。)

- 1 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
- 2 解答用紙に受験番号、氏名を正確に記入すること。
- 3 下敷の使用は禁止する。
- 4 試験終了時に解答用紙と問題用紙は別々に回収する。
- 5 試験終了後は試験監督の指示に従って行動すること。

※ なお、試験中に気分が悪くなった場合は試験監督に申し出ること。



一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

環境という言葉は、今ではさまざまな意味で使われているが、もともとは「主体」の存在や活動に何らかの影響を与える外界の事物や条件などをさす。何を主体と考えるかによって、その環境を構成する事物・事象、空間的な範囲などは大きく異なる。A、動物の体内に寄生する寄生虫にとつての環境は、その宿主の動物の腸管などの特定の器官がほとんどすべてともいえるが、季節ごとに数千キロの渡りをする渡り鳥の環境は、繁殖地および越冬地の湿原や森林に加えて渡りの中継地の生態系をも含めた空間的な広がりのできるものとなる。

ヒトをはじめとする生物の生存と活動、その帰結としての適応度(個体が残す子ども数で表される次世代への貢献度)に影響を与える環境の要素はきわめて①多岐にわたる。

環境の要素には、光や温度とその変動、火山活動などのように無生物的なものと、他の生物の存在や活動などといった生物的なものがある。植物の生き残り・成長・繁殖の成否を通じて、適応度に影響を与える環境の要素にどのようなものがあるかをあげてみよう。B、光合成による物質生産に必要な資源として光、水、栄養塩(肥料)などがあり、温度も重要な影響を及ぼす。葉を食べたり汁を吸ったりする昆虫は、光合成で稼いだものを消費してしまうため適応度を引き下げる生物的な環境要素である。カビや細菌などの病害を引き起こす生物要素もある。花が咲いて、実を結び、種子が分散することにかかわる生物的環境要素として重要なのは、花粉を運ぶ昆虫や種子の分散を助ける鳥や獣などのさまざまな動物である。それらの多くは植物が提供する何らかの餌をめあてに花や果実を訪れ、あるいは利用することで花粉や種子の移動を②バイ介し、植物の繁殖を助ける。すなわち、それらと植物とは互いに適応度にプラスに作用しあう①的生物間相互作用で結ばれている。いっぽう、花や果実を食害することで繁殖を妨げる虫や鳥や獣もいる。これらは適応度を引き下げる生物的環境要素であるといえる。前章では、ヒトがかかわるものも含め、生物環境作用としての生物間相互作用が生命の歴史を通じて、生物多様性にダイナミックな変化をもたらした影響を記述した。

これらを通じて、生き残りをかけて生物はさまざまに進化してきた。生態学では、これらの自然淘汰による適応進化で獲得された遺伝的な形質やその組みあわせを a「戦略」と呼ぶ。その生物の一生のさまざまな時期に発現する生活のあり方ともいえる生活史戦略、確実な繁殖を保障する繁殖戦略などである。

ヒトの場合にはそのような遺伝子に組みこまれた戦略に加えて、言語によるコミュニケーションを通じて集団化され世代をも超える「戦略」をもつことができる。生態的・進化的プロセスによつて発達する戦略と、世代内・世代間のコミュニケーションによる文化的・社会的なプロセスにも依存して形作られる戦略の両方が、ヒトの対環境戦略であるといつてよいだろう。両タイプの戦略はいずれも、与えられた環境のなかでよりうまく振る舞って多くの子孫を残すことに③キ与する。そこで、本書では、自然淘汰によつて進化する生物一般に共通の戦略と、それをベースにしながらも文化的・社会的なプロセスによつて形作られるヒトの戦略の両方を含めて「対環境

戦略」と呼ぶことにする。(a)

ここで重要な点は、文化的・社会的なプロセスによる戦略の絶大な影響のもとにおかれる人間ではあるが、あらゆる活動において、b「生物としてのヒト」から離れることができないということである。どのように高度な文明を発達させようとも、また、いかに複雑な精神生活を営むようになろうとも、cヒトである人間は、生物一般に課せられる「環境の制約」から逃れることはできないのである。(b)

環境の要素のなかには「資源」がある。「資源」とは、主体がその生存、活動、繁殖に必要とするもののうち、主体の活動にもなって消費あるいは④セン有センウされるものである。たとえば、餌や水、植物にとつての光などがこれにあたる。光は上部に葉を広げた植物に利用されれば、下方の植物は利用できない。(c)

主体と環境との関係は、相互作用であり、環境が主体に影響を与える(作用)いっぽうで、主体の活動は、環境に影響を与えてそれを変化させる(反作用)。C環境を構成している要素の間にもさまざまな相互作用が成り立っており、それらは時間とともに常にダイナミックに変化する。その相互作用が主体の適応度を大きく左右することから、生物には対環境戦略として捉えることのできるさまざまな形質やその組みあわせがあり、常に進化している。(d)

環境は主体に対して作用を及ぼすとともに、主体の活動によって変化する。生物は単に環境の作用を受け、その活動によって環境に影響を与えるだけではない。適応進化によって環境との作用のあり方を変化させる。適応進化は、適応度に及ぼす淘汰と呼ばれる環境の作用を基礎として、個体群の遺伝的な特性が変化していくことを意味するが、このプロセスが、隔離と組みあわせされると、それぞれの個体群の独自の適応進化によって、種の分化にもなう多様化が起こる。生物と環境の関係は、単純な作用―反作用系としてだけではなく、生態的現象と進化的現象の二つの中で捉えるべきものである。(e)

生物としてのヒトを捉えた場合、周囲の環境との相互作用においてもっとも基本となることは、まず、当然のことながら、環境から資源を得て生活するということである。衣食住やその他の活動にヒトが必要とする資源は、水や石などの無生物であることもあるが、その多くが他の生物やあるいはその生産物である。この場合、ヒトは、他の動植物に捕食や食害という影響を及ぼす。他方、生活のなかで不可避免的に生じる排泄物や不要物を自然界の物質循環に委ねることも生活条件の維持のために欠かせない。ヒトが必要とする循環や排出した汚物を浄化する作用は、植物、ミミズなどの土壤動物、微生物などの働きに負うところが大きい。

いっぽうで、ヒトは、その資源となる生物、すなわち、作物、家畜、水産物、材木などをめぐって、植物食の動物や捕食者、あるいは資源生物に寄生する病原生物と競争関係にある。D、わずかではあるがヒトを捕食する動物、そして時として大きな影響力をもつヒトに寄生する微生物やウイルスも、ヒトの対環境戦略にかかわる生物因子である。大型の哺乳動物であるヒトを捕

食する動物はそれほど多くはなく、その影響は過去においてもそれほど大きくなかったと思われるが、寄生生物の影響は人口密度が高まるにつれて増大するから、現代の高度に発達した科学をもつてしても、その影響は制御しがたいものとなっている。いっぽう、無生物的な環境要因である極端な温度や乾燥、自然の災害などがヒトの生活にもたらす影響はきわめて大きい。d 一見無生物的なそれらの影響の背後には、何らかの生物因子がさまざまな形でかかわっていることも少なくない。

鷲谷いづみ『自然再生』

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

問一 点線部①～④のカタカナを漢字に直したときと同じ漢字を用いるものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 多キ〔解答番号は1〕

- a 常キを逸しているとしか考えられない。
- b キをてらったアイデアだ。
- c キ律は守らなければならぬ。
- d その出来事が転キとなった。
- e 人生のキ路に立たされた。

② バイ介〔解答番号は2〕

- a 話を聞いた彼女は狼バイした。
- b バイ審員は彼を有罪にした。
- c その細胞をバイ養することに成功した。
- d 石灰の液化には触バイを要する。
- e バイ償金を請求した。

③ キ与〔解答番号は3〕

- a 職業にキ賤はない。
- b 一キ一憂した。
- c 偉人の一代キを読むのが好きだ。
- d どうとう結論にキ着した。
- e 多額のキ付金が寄せられた。

④ セン有〔解答番号は4〕

- a 彼はセン星術師だ。
- b それは彼女のセン売特許だ。
- c 水道の開セン手続きをした。
- d 船の上をゆっくりセン回した。
- e 民主化運動がセン鋭化する。

問二 空欄A～Dを埋めるのに最も適当な語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。同じ記号は一度しか使えません。「Aは解答番号は5、Bは解答番号は6、Cは解答番号は7、Dは解答番号は8」

- a もちろん
- b すなわち
- c たとえば
- d まず
- e さらに

問三 本文のある箇所からは次の一文が抜けています。元に戻す場合に最も適当な箇所を(a)～(e)の番号で答えなさい。【解答番号は9】

へしたがって、個体間や集団(個体群、種)間に競争が生じる。▽

問四 傍線部 a 「戦略」に関し、「生態的・進化的プロセスによって発達する戦略」として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は10】

- a 壁画に残された古代生物の情報
- b 未知のウイルスに対する体内の抗体
- c 村に伝わる先祖伝来の言い伝え
- d 井戸端会議に興じること
- e 地名に意味を込めること

問五 次の五つの「ひと」のうち、傍線部 b 「生物としてのヒト」にあてはまるものはどれか。適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は11】

- a ひとの祖先はサルであると言われている。
- b 目上のひとを大切にすべきである。
- c ひとの言うことを何でも真に受けるな。
- d 彼女はもつと理知的なひとだ。
- e 彼は教育界で得難いひとです。

問六 傍線部 c 「ヒトである人間は、生物一般に課せられる「環境の制約」から逃れることはできない」とはどういう意味か。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は12】

- a それぞれの生き物には独自のコミュニティがあり、その環境で生き残っていくために、生物独自のルールを守りながら生き抜く必要があるのだということ。
- b 現在のヒトの能力では、環境によってもたらされた資源を有用に使いこなすことはできておらず、科学文明の力に頼るほかはないということ。
- c 人間の技術やヒトの進化がいかに発達したところで自然による気候の変化や災害を制御することはできず、環境が作り出す資源を使って生きなければならないのだということ。

- d 環境破壊が進む現在、資源が枯渇し、地球は徐々にヒトにとって住みづらい場所になりつつあるため、新たな環境を求めて地球外へ出て行くほかはないということ。
- e 自然災害というあらがえない強大な力が、ヒトは他の哺乳類動物より上位の存在であるという思い込みを打ち砕くことになったということ。

問七 傍線部d「一見無生物的なそれら」とは何を指すか。適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は13】

- a 作物、家畜、水産物、材木など
- b 現代の高度に発達した科学
- c 極端な温度や乾燥、自然の災害など
- d 微生物やウイルス
- e 植物、ミミズなどの土壌動物、微生物など

問八 空欄1にあてはまる語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は14】

- a 競争
- b 共生
- c 依存
- d 包括
- e 相克

問九 本文の内容と合致するものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。【解答番号は15】

- a 生物は常に環境に適応しながら進化してきたが、同種の生物が何らかの要因で異なる環境下におかれた場合、一方は適応進化という形で遺伝的な特性を変化させることがある。
- b ヒトは生き残るために文化的・社会的過程の中からも「戦略」を見出したが、それはヒト独自の「戦略」であるため、今後も進化させていく必要がある。
- c 環境と主体は、時代の変化に伴い、常にどちらかがどちらかを淘汰することで両者の力関係を示してきた。
- d 現在、地球上における資源の大多数を所有しているのはヒトであるが、常に他の動物や病原生

物と資源をめぐる争いが水面下で起こっている。

- e 技術の向上と高度な文明により、ヒトは環境に左右されず生活することを可能にしたが、資源の使いすぎにより、地球の生態系バランスを壊しつつある。

二 次の①～⑩の熟語の構成をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 真偽【解答番号は16】      ② 不慮【解答番号は17】  
② 存廃【解答番号は18】      ④ 桑園【解答番号は19】  
⑤ 未聞【解答番号は20】      ⑥ 不詳【解答番号は21】  
⑦ 傑作【解答番号は22】      ⑧ 謹聴【解答番号は23】  
⑨ 製靴【解答番号は24】      ⑩ 官邸【解答番号は25】

- a 同じような意味の漢字を重ねたもの。  
b 反対または対応の意味の漢字を重ねたもの。  
c 上の字が下の字を修飾しているもの。  
d 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの。  
e 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの。

三 次の熟語の対義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 冒頭【解答番号は26】      ② 乾燥【解答番号は27】  
③ 一見【解答番号は28】      ④ 素人【解答番号は29】  
⑤ 硬直【解答番号は30】

- a 熟視      b 玄人      c 末尾      d 湿潤      e 柔軟

四 次の熟語の類義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 留意【解答番号は31】      ② 承知【解答番号は32】

- ③ 快復〔解答番号は33〕      ④ 祝福〔解答番号は34〕
- ⑤ 断罪〔解答番号は35〕
- a 配慮      b 受諾      c 慶賀      d 治癒      e 処罰

五 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 奇□天外〔解答番号は36〕      ② 切磋□磨〔解答番号は37〕
- ③ 満□創痕〔解答番号は38〕      ④ 大言壮□〔解答番号は39〕
- ⑤ 有名□実〔解答番号40〕

- ① 着想      b 総相      c 相装      e 創
- ② 宅拓      b 琢卓      d 卓扱
- ③ 身心      c 苾真      e 深
- ④ 言語      c 口真      d 文誤
- ⑤ 事虚      c 真      d 無      e 現

六 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 鳴かぬ□が身を焦がす〔解答番号は41〕
- ② □を食らわば皿まで〔解答番号は42〕
- ③ 赤□洗うが如し〔解答番号は43〕
- ④ 箸にも□にも掛からぬ〔解答番号は44〕
- ⑤ 風雲□を告げる〔解答番号は45〕

- ① 烏鳥      b 雉      d 蛭      e 蟬
- ② 実飯      b 毒      d 杯      e 菓
- ③ 垢飯      b 貧      d 品      e 色
- ④ 匙      b 鋤      d 竿      e 棒
- ⑤ 用急      b 難      d 時      e 刻

七 次の①～⑤の傍線部の活用の種類として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じ記号を何度用いても構いません。

- ① 走る人を追いかけた。 [解答番号は46]  
② 電話しながら歩くと危ない。 [解答番号は47]  
③ 叫ぶ声を聞いて振り返った。 [解答番号は48]  
④ 楽しまなければ損である。 [解答番号は49]  
⑤ 君に頼みたいことがある。 [解答番号は50]

a 未然形  
b 連用形  
c 終止形  
d 連体形  
e 仮定形